



TITLE:

支部欄

AUTHOR(S):

CITATION:

支部欄. 天界 1936, 16(183): 375-378

ISSUE DATE:

1936-06-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/167253>

RIGHT:

支部欄

大阪支部報告 (6月)

◆5月24日支部委員會開かる

昨秋大阪支部強化委員會開かれてより半歳後、をぐらやビルにて19時より開會、支部長開會の辭に次ぎ支部上半期事業報告、下半期事業案、上半期會計決算報告、本年度豫算案等支部發展策が審議され、今夏南海高島屋に於ける大阪支部主催日食・天文の觀測・展覽會開催に就き協議成案得らる。本年度支部委員會の職分を正百濟・副宮森各支部長、庶務大口、編輯會計西森、會計監督廣野、學校支部豐中中井伊、市岡中西村、大手前高女宮森の各氏を推舉する事となり閉會、出席者百濟・高城・大口・伊達・坂元・西川・津田・廣野・西森諸氏。

◆支部報第8號の發行

6月1日附支部報用紙3枚、兵庫縣版は2枚として總計200部を大阪・兵庫府縣に發送、第1・2頁會告欄、阪神兩支部合同見學會・大阪支部下半期事業案・會計報告等、第3頁談話室「β ペルセの觀測」等で賑ふ。兵庫縣版第1頁は同内容、第2頁大阪支部の趣意案内他地方の方にも希望者に支部報配布を受けます。追つて奈良・和歌山各縣版も發行豫定。

◆6月5日大毎學藝部主催日食座談會

大毎より招待狀を受けて出席したのは宮森・井伊・伊達・西森諸氏の我が支部員と上宮中の戸河里氏にて、大毎側は學藝部長・部員等にて13時開會、3時間に亘り日食の通俗座談會が試みられ、その内新聞讀者に興味ある要點は同紙6月6日朝刊に掲載されて、民衆の日食教育に資せられた。當日百濟氏は不得已缺席された。

◆6月6日阪神兩支部合同見學會

快晴に恵まれた此の日大阪支部員11名・神戸支部員8名の参加にて神戸海洋氣象臺・諏訪山遊園の金星臺・改發天體觀測所の見學を豫定通りに催され、須磨海岸の風光を賞で、16時解散。口繪参照(伊達氏撮影)。尙金星臺の記念石碑に刻まれた文字は支部報第9號3頁に掲げられて居る。

◆6月7日支部6月例会開催

日曜日の12時よりをぐらやにて開會、窓下は心齋橋筋の雑踏、アドバルン

浮ぶは初夏日和、の故か出席者意外に少く15名、此の席に出た人の熱心に感激せざるを得ない。伊達氏により開會の辭と遠く遠輕に在る日食觀測隊員の高城・大口兩氏よりの支部宛の通信文が述べられ、續いて百濟氏の日食講話を3時間興味を惹かれて傾聽、座談會に移つて各自の日食對策祕策を巡し、遠輕の高城・大口兩氏を激勵する寄せ書を爲して17時半閉會、井本氏が記念撮影された。

◆支部報第9號發行さる

6月15日附支部報用紙3枚、第1頁會告欄、第2・3頁は談話室にて遠輕觀測隊附大阪支部特派員の通信にて賑ひ、北海道各地觀測隊の模様が知悉せられる。

◆6月17日・18日・19日3日間の南海高島屋にての觀測會

大阪支部主催にて豫期以上の盛況裡に夜間の天體觀望、日食觀測が催された。使用器械はブシュ・エピアン・クラウスの各8種、アポロン・コメットの小口徑各屈折望遠鏡總計9臺、何れも同店の提供にて3日間夜間は木星に、19日は各機に投影板・投影器・サングラスを取附けて支部員の指導・解説と同店宣傳部・眼鏡部員の後援にてドツと押し寄せた參觀者を整理しつつ觀覽せしめ、支部員は機械の調整・説明に汗だくの中を觀測記録を採り、快晴に恵まれて初虧より食甚・復圓に到る迄完全にコンタクトや氣溫變化・日光照射が射止められた。尙當日各自支部員も自宅・出勤先で觀測・寫眞撮影もされすべては21日の支部例會に報告される。

◆6月19日大朝學藝部主催「女性」日食座談會

大朝學藝部より支部事務所に韓旋の依頼を受け、大朝にて女性支部員を招待して日食座談會を同社にて18時より開會、同紙20日附朝刊に紹介された。

大 阪 支 部 7 月 例 會

1. 日時 7月5日(日) 定刻18時

1. 場所 心齋橋筋八幡筋南入西側 をぐらやビルデング 3階

1. 第2回日食報告座談會

例により他地方會員も來場、友人知己も誘合せて來會して下さい。

京都支部・京星會だより (5月)

日食が愈々迫つて來た、續いて土星環の消失だ。花山の觀測隊が續々北海道へ出發し、新聞が連日日食の記事を載せる。土星環消失や流星群までが新聞記事として躍り出す。同好者はじつとしてゐられない。盛んに會合が行なはれ、日食觀測、土星環觀測に就ての打合せがされる。

○會誌「京星」5月號發行 機關紙として發刊された「京星」は第2年度から天文雜誌天文研究誌の内容を備へ本月第9號が發行された。内容は次の通りで、46頁・第1頁に淺野氏撮影の月の寫眞2枚が附けられてゐる。

卷頭言 コロナのスペクトル—花山天文臺柴田淑次 日月食の週期—宇野良雄 來る6月19日の日食—編輯部 月を寫す—淺野英之助 小望遠鏡で見へる二重星の表(2)—花山天文臺稻葉通義 星座神話—北冠座 月面名所案内ロケットにて(3)—伊達英太郎 星影と共に—佐々木正 5月・6月の天象 京星會東亞天文協會京都支部報告會告 編輯後記

○スペクトル觀望會 9日(土)夜前田治久氏宅で10糎反射機筒口對物プリズム口徑8糎を以て、スペクトルの觀望會が開かれた。午後薄曇りで危ぶまれた空も夕方から晴れてアルクトウルス・ヴェガ、木星、月等に機械を向け集まつた10餘名の會員に配色の美しさと天體の神祕を深く感ぜしめた。

○彗星出現速報 18日花山天文臺へ本年最初の彗星が発見された旨、コペンハーゲン天文臺より來電があつた。生憎天文臺の先生は日食觀測の爲殆んど北海道へ出發された後であるためこれを觀測する事が出來ず、早速天文臺より當會觀測部にその位置、運動、光度、其他要項の電話通知あり當會員の觀測を希望されて來た。それで觀測部より直ちに會員中10糎以上の機械を所有し、熱心に觀測を行なつてゐる10餘名の諸氏に電話又は葉書にてその旨急報された。

○日食觀測、土星環消失觀測に關する印刷物發行 6月19日の日食に北海道へ出掛けられない同好者が、如何にこの部分食を觀測すべきかに就いて、その方法、注意が圖書部より8頁の謄寫印刷物として5月下旬發行、全會員に配布された。更に日食觀測のため専門家が北海道へ出掛け、天文臺が空になつてゐる處へ起る土星環消失は、内地に残る同好者の協力觀測すべきものとして觀

測部遊星面課より觀測期間、觀測法、報告の形式等記載の印刷物が發行され觀測者に配布された。上記二つはいづれも幹事の寄附奉仕によつてなされたものである。

豫 告

日食報告講演映畫會	大阪朝日京都支局	7 月
	大阪毎日京都支局	7 月
會誌「京星」日食報告號	7月中旬發行	
子供が星を覗く會	7月又は8月中旬上曜日夜、比叡山頂に於て月、木星、其他の觀望。京星會京都理科研究會共同主催	

「天界」原稿大募集 (原稿用紙進呈します)

われらの「天界」をより一層よくするために、會員諸氏のあらゆる種類の投稿を歓迎します。

『天文』と『星』に直接、間接關係した

論說、觀測記、體驗談、史實、傳説、史跡調査、紀行文、文藝小品、詩、歌、

神話、通信文、發明發見、蒐集、趣味、參考文その他寫眞、繪畫、スケッチ。

天文の興味、星の趣味は、一度あの星々の悠遠な美に打たれた者でなくては解からない。吾々には吾々の記事が書かれてお互ひの境地の交換が必要である。又一方、未だこの星の眞理を知らざる人々への手引きをもして新しき同好者と相樂しむ事も我々會員の一つの務めであらう。

◎添載の分には薄謝を呈します

天 界 編 輯 部

編輯餘滴

★7月號は6月19日の日食觀測の材料が手に入らない爲、残念乍ら8月號に譲らなければならぬ事の爲に頁數も少なく、之と言つて纏まつた内容を會員諸氏に提供出来ない事は編輯者として遺憾至極です。

★8月號は日食報告號として發行される豫定であるから、會員諸氏が各自行はれた日食觀測の結果を、奮つて天界に應募せられん事を。

——(佐登兒)——